

造血器・リンパ系腫瘍の WHO 分類 2016 version

2001 年に出版された「骨髄系腫瘍およびリンパ球系腫瘍の WHO 分類 第 3 版」は、造血器腫瘍の分類の standard となり、広く普及しました。2008 年に大改訂が行われ、第 4 版が発行されました。さらに、2016 年にはその一部が改訂されましたが、2016 年の改訂は小改訂であり、「blood」誌に発表されたのみで、第 5 版は出版されていません。

造血器腫瘍の分類・診断の一翼を担う臨床検査担当者・従事者にとっても、最新の WHO 分類の内容を知ることが重要です。しかし、第 5 版やその訳本が未発行であるため、2016 年の改訂内容について検査担当者が十分理解しているとは言い難いのが現状です。そこで、2016 年の改訂内容の臨床検査領域における周知を目的として、今回の特集を企画しました。本特集では、新たに追加された分類項目や病型の名称変更、分子遺伝学的知見の追加などが解説されています。血液学検査に携わる方に広く本特集をお読みいただき、最新の WHO 分類について理解を深め、検査業務に生かしていただきたいと願う次第です。

佐藤尚武 (順天堂東京江東高齢者医療センター臨床検査科)